

●池田地区データ

(令和元年9月末現在)

区 分	人 数	区 分	世帯・割合
人 口	12,042 人	世 帯 数	6,010 世帯
14歳以下	1,090 人	一人暮らしの高齢者世帯数	803 世帯
15～64歳	5,818 人	高齢者のみ世帯数	526 世帯
65歳以上	5,134 人	高 齢 化 率	42.6 %
75歳以上	2,914 人	後期高齢化率(75歳以上)	24.2 %
社会資源			
<ul style="list-style-type: none"> ・高校(2校) ・中学校(1校) ・小学校(5校) ・保育所・保育園(4箇所) ・幼稚園(4箇所) ・公民館・地区館・分館(20箇所) ・構造センター(10箇所) ・消防署(1箇所) ・消防団(15箇所) ・児童クラブ(6箇所) ・駐在所(3箇所) ・病院(11箇所) ・介護施設(18箇所) ・介護サービス事業所(23箇所) 			
地域のイベント			
<ul style="list-style-type: none"> ・阿波踊り ・池田文化まつり ・うだつマルシェ ・銀座よろず市 ・酒まつり ・戎まつり など 			

●住民アンケート・座談会を受けて

池田地区は、三好市の中心地に位置し、古くから交通の要衝として栄えてきました。地区には市役所をはじめ消防署・警察署・西部県民局・保健所など多くの行政機関が集まり、銀行・県立病院・大型スーパーなどが集まる三好市の中心市街地です。

住民座談会では、山間部は高齢化により自治会組織率の低下の進む中、既存のイベントを若者と共に残そうとしている地域が多くみられました。一方、市街地では多種多様な生活スタイルの中で、地域コミュニティへの関心が低下し、後継者の育成が課題となっています。

また、援助が必要な方への支援については、第二次地域福祉活動計画よりサロン活動を実施する地区住協が増えましたが、「実施場所が遠く参加できない」「回数の不足」「お世話人の高齢化や人材不足」など、実際に見守りが必要な方の参加が難しいことが課題となっている地区が多くありました。このことから、現在取り組んでいる集いの場を活用し、100歳体操を取り入れたミニサロンの実施を希望する地域が増えています。

安全で安心な豊かなまちづくりについては、二年前の豪雨災害を教訓に、防災訓練の実施や防災マップの見直し等を行っている地区が多数ありますが、その取組みも地域によって温度差があり、一人暮らし等による災害時要配慮者の増加など、その支援も課題となっています。

重点事業 1

「地域の絆づくり」の推進

- 地域での課題
 - ・地域行事への参加者や内容に偏りがある
 - ・地域のサロンに遠くて参加ができない方がいる
- 課題解決に向けての目標
 - ・交流の場を充実させる
- 取組計画

取組項目	内容
小地域サロン活動の充実・強化	小地域でのサロンの実施やリーダーの育成を推進する。
世代間交流の推進	幅広い世代が参加できる行事を実施し、世代間での交流を図る。

重点事業 2

「援助が必要な方に対する支援」の推進

- 地域での課題
 - ・要援護者の孤独や閉じこもりの防止
 - ・困りごとを気軽に相談できる体制が必要
- 課題解決に向けての目標
 - ・地域で支えあう体制づくり
- 取組計画

取組項目	内容
見守り活動の継続と体制整備	積極的な声掛けや訪問を行うことで地域からの孤立や閉じこもりを防止する見守り活動を推進する。
ささえあいネットワーク会議の実施	問題の早期発見や対象者の支援等を迅速かつ効果的に解決することでネットワークの構築を推進する。

● 地域での課題

- ・緊急時の対応についての意識づくりが不十分
- ・消費者被害防止や交通安全・防犯意識の向上が必要

● 課題解決に向けての目標

- ・地域で安全に暮らせる支援体制づくり

● 取組計画

取組項目	内容
防災力の強化	防災マップ等を活用し避難場所・経路場所の経路の確認を行うとともに、適切な避難行動の意識づくりを図る。
緊急時の連絡網の整備	各種団体と連携し災害における緊急連絡網の整備を推進する。
防犯活動及び交通安全への充実強化	消費者被害・交通安全への情報提供を行い、意識づくりを図る。